２０１８年　２月　発行　№７０

くさのみだより

～目　次～

食事提供体制加算継続　①
新年互礼会　②
虹の会署名学習会　③
署名・募金活動について　④
障害者週間＆生協ひろしま寄贈＆広島中央ライオンズ観戦招待お礼　⑤
くれよんフェスティバル報告＆寄贈お礼　⑥
自主製品販売ご案内・編集後記　⑦
寄付・後援会入会お礼　別紙

みんな元気で新スタート

秋保　喜美子

一週間のお正月休みも過ぎ　笑顔がいっぱいの互礼会
みんなていねいにご挨拶
「あけましておめでとうございます」
「今年もよろしくお願いします」

「みんな元気でスタートできて良かった！」
「一番の願いは　みんな健康で過ごしてほしい！」
「仕事もコンスタントにあるといいね！」
「楽しいこともいっぱいあったらいいなぁ！」
「給　料が増えたらいいなぁ！」
一人ひとり願いも思いもさまざま

今年のだし物は職員さんの大奮闘
思いっきり体を動かし　みんなでダンス
時間制限付き粘土創作「お題目クイズ」
マジシャングループもプロ並みの腕前！
わき起こる拍手と笑い　どのグループも芸達者揃い
「まぁ　忙しいのにいつ練習されたの？」
最後は恒例の「干支入り大判かきぞめ」のご披露

今年もみんなの笑顔で　多くの人とすてきな出会いと
たくさんの「福」に恵まれますように
地域の皆さん　よろしくお願いします

食事提供体制加算 継続!!

食事提供体制加算とは、作業所の利用者に給食を提供した場合、調理員の人件費の一部を報酬（運営費）として算定するものです。現在、利用者は食材費を負担しています。この加算が廃止されると、金銭的負担が大きくなってしまいます。

昨年１１月末、厚生労働省から突然、２０１８年４月以降の食事提供体制加算の廃止が提案されました。障がい者施設での給食費については、２００６年施行の旧障害者自立支援法（現:障害者総合支援法）で原則自己負担の方針が打ち出されました。しかし、利用者や家族の負担過多が懸念され、過去３回の報酬改定の際には経過措置が設けられ、公費による負担は継続されてきました。

現行制度廃止に反対する声が多くあがる中、きょうされん（※１）が、加算継続を求める『緊急要望書（※２）』を厚生労働省へ提出しました。

（※１）きょうされん‥1977年発足、旧称：共同作業所全国連絡会
約1850ヶ所の会員事業所で形成（2017年現在）

（※２）要望事項の内容
１、食事提供に関しては報酬に加算するのではなく、恒久的な制度とすること。
２、１の制度検討に時間を要するのであれば、当面現行の加算制度を継続すること。

くさのみ福祉会でも、利用者や家族に要望書に意見を書いてもらったり、署名を行うなど積極的に活動しました。他の障がい者団体などからも反対の意見が相次ぎ、集まった要望書は１２７０団体。最終的に廃止撤回が実現しました。

しかし、３年後にはまた見直しの時期がやってきます。利用者の負担や給食の大切さなどを考えると継続ではなく、恒久的な制度にする必要があると考えます。

加算が廃止されると‥

加算の額は一人当たり１日300円。廃止になると、月最大6600円（22日間）の負担が増えることになります。加算がなくなれば、月約14000円の給食費を自己負担することになります。

※利用者の平均工賃は月額１万円程度

みんなだいすき！給食

給食の大切さ

給食は栄養面だけでなく、個々の特性に応じたアレルギー対応など、きめ細かい対応が必要です。また、みんなで同じメニューを食べることで、仲間意識や一体感が生まれ、偏食の克服にもつながります。毎日の献立を確認して楽しみにしている利用者の姿を見ると、給食の大切さを実感します。

新年互礼会

1月5日

驚きと笑いありのマジックショー♪
みんな夢中になっていました(≧▽≦)

くさのみ作業所

「あけましておめでとうございます！」「今年もよろしくお願いします！」みんなの元気なあいさつが作業所内に響きわたりました。

各作業班の代表がそれぞれ今年の目標を発表するごとに会場が盛りあがりました！！

その後は職員による「マジックショー」や、戌年にちなんだ「ももたろう」の朗読など、みんなで楽しいひと時を過ごしました。

たくさんの初笑いで新しい一年がスタートしました。

ボランティアの山根さんのステキな書き初めに目を奪われました☆

ピクトハウス

一年のみんなの幸せを祈って、ピクトハウスの新年初日は互礼会から始まりました。

趣向を凝らした美味しい手作りのお茶菓子とお抹茶をいただき、福笑いやすごろくなどの正月遊びを楽しみました。着物に身を包み、お茶会のスタッフとして利用者がお茶を運んでくれました。正月の季節感たっぷりの素敵な行事です。

和やかなカルタ遊びが徐々に白熱していきます。

正月遊びコーナーでは、すごろくを手作りしました。マスの中に、自分たちそれぞれの今年の目標や、好きなことを書き出し出来上がり！楽しいことでいっぱいの一年になることを願いながら、しっかり盛り上がりました。

着物に初チャレンジ☆

虹の会

署名学習会に参加しました

昨年１１月２９日（水）に、広島市西区地域福祉センターで、きょうされん虹の会主催の「署名学習会」がありました。県内の各作業所から、たくさんの参加がありました。

くさのみ作業所からは利用者、職員、ボランティア計１３名が参加しました。今回の署名の請願項目についての説明など、午前中だけの短い時間でしたが分かりやすい内容で、とても考えさせられる学習会になりました。

自分たちの将来のことを思い浮かべながら話を聴きました！

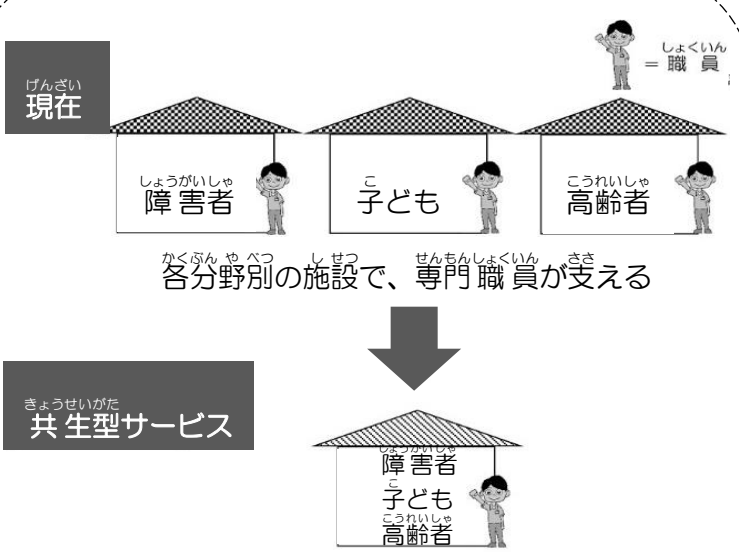
参加した人の感想

☆「共生型サービスになってほしくないです。そのためにも、署名活動、『がんばるデイ』をがんばります！！」

★「説明が分かりやすかった！」

どんな問題があるの？

～「我が事・まるごと」共生社会～



今年４月から、「地域包括ケアシステム強化法」が始まります。

今まで障がい者は障害福祉サービス、高齢者は介護保険を利用していました。

新たな制度では「共生型サービス」（左の図参照）として、障がいがある方も高齢の方も、同じ施設の中でサービスが使えるようになります。しかしこれは、少ない人員配置で利用者を支援することになり、これを国は「生産性の向上」と言って、どんどん進めていこうとしています。どの分野も職員が少なくなると、利用者一人ひとりに合わせた支援は難しくなる心配があります。この制度が悪い方向に進んでいくのであれば、様々な現場からの意見を利用者とともに、国に伝えていく必要があるのではないでしょうか。

あたりまえに働き えらべるくらしを

～障害者権利条約を地域のすみずみに～

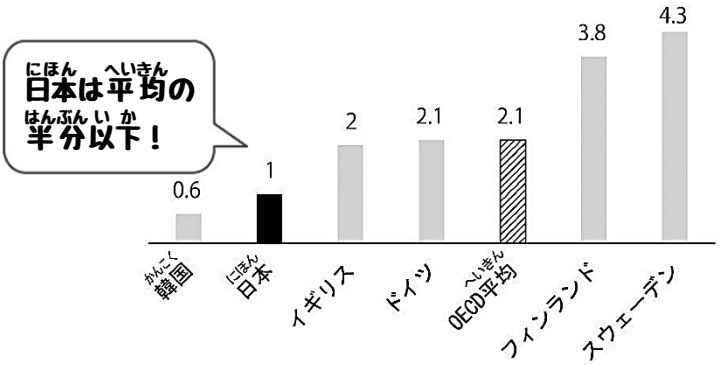
第４１次国会請願署名・募金運動にご協力ください

２０１４年１月、日本は国連の定める障害者権利条約を批准しました。しかしながら、現状において障がいがある人の所得保障の根幹である障害基礎年金は、引き上げを求める声に反し徐々に引き下げられ、ほぼ一生を、親・きょうだいと同居しながら介護を受けざるを得ない状況が続いており、他にもまだまだ多くの課題が山積しています。

障害者権利条約の中で、何度も強調されている「障害のない他の者との平等」を実現させるためには、運動を継続し世論を作っていく必要があります。

国内総生産に占める障がいのある人の生活を支える支援にかける国の予算割合

※３５の先進国が参加するＯＥＣＤのデータ（2016年発表）



くさのみ福祉会目標

署名数	7,100筆
募金額	260,000円

国のしくみを決めている国会に対し、憲法で全ての国民は請願する権利が認められています。きょうされんは、これまで４０年間、多くの市民の協力を得ながら署名活動を続けています。請願署名は紹介議員や委員会を通して本会議で採択されれば法律や制度に反映させるべく、内閣が責任を持って取り組むという流れになります。

この度の請願署名活動も５月の国会提出を目指し、現在全国各地で利用者を中心に据えながら取り組んでいます。

今号のたよりに添付してある署名用紙をご確認の上、一人でも多くの方にご協力をいただければと思いますので、よろしくお願いします。

街頭署名活動「がんばるデイ」
（昨年12月：アルパーク）

街頭で市民の方々に、署名と募金の協力をお願いしました！

ありがとうございました

ゆめタウン廿日市様

こだわりの手づくり製品を販売

昨年１２月９日（土）に「ゆめタウン廿日市」にて開催された、３回目の“障害者週間”啓発イベントに、くさのみ作業所＆ピクトハウスが参加しました。３階フロアでは、事業所製品の販売や手話教室、ロービジョン体験(※)、２階市民ホールでは、展示（事業所紹介・作品展）、喫茶、バルーンアート、絵本「障害者権利条約」の上映を行いました。たくさんのお客さまと交流することができ、障がいがある人たちが、身近な地域で活躍していることを知っていただけるとても良い機会になりました。

心をこめてつくった作品展示

ゆめタウン廿日市様、ご支援、ご協力本当にありがとうございます。

※弱視の方が、どのように見えているのかを特殊なレンズを使って体験することです。

生協ひろしま様

さわやかな緑色の大きなテント！快適で～す(^^)/

生協ひろしま様からピクトハウスとグループホームさくら木荘に、助成金をいただきました。

素敵な柄のカーテン最高で～す(*^^)v

ピクトハウスでは折りたたみテントを購入させていただきました。外作業やイベント時に天候に左右されず活動することができます。

さくら木荘では、防災カーテンを購入しました。万一の時に利用者の生命を守ることにもつながります。

生協ひろしま様、ありがとうございました。

広島中央ライオンズクラブ様

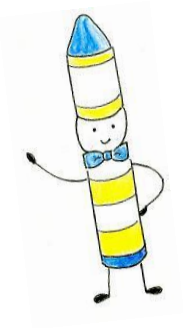
シュートが入って大盛り上がり♪♪

昨年１１月２６日（日）、広島中央ライオンズクラブ様のご招待で、サンフレッチェ広島対ＦＣ東京戦を観戦しました。この試合は、サンフレッチェ広島のＪ１残留がかかった大切な試合でしたが、幸いにも勝利することができました。参加した作業所の利用者も熱心に応援し、喜びを分かちあうことができました。広島中央ライオンズクラブ様、ありがとうございました。

くれよんフェスティバルを開催しました

作品展示

絵本に基づいた活動や、季節の行事で制作した作品を展示しました。くれよんでの活動に興味を持ち、じっくりと作品を見ていただけました。



昨年１１月１１日（土）は、天気にも恵まれ、地域の方やくれよんに関心のある方、くれよん利用の子どもたちや家族の方など、１００人を超えるたくさんの方にお越しいただきました。

子どもたちの作品展示をとおして、くれよんでの取り組みを知っていただいたり、フルートとピアノのコンサートやミニプラネタリウムなどの文化的な催しも楽しんでいただくことができました。

このフェスティバルが、今後も地域とくれよんをつなぐ行事になっていけたら…♪と思っています。

フルートとピアノのコンサート

本物の楽器の音に触れ、素敵な時間を過ごせました。

おみやげのしおり

お越しいただいた方に、子どもたちが作ったしおりをプレゼント☆

こころあたたまるおくりもの

ゆめタウン廿日市さま
（お菓子入りクリスマスブーツ）

明治ホールディングス株式会社
株主さま（お菓子）

くれよんの子どもたちに
素敵な贈り物をいただきました！

クリスマス会で子どもたちにプレゼント♪
たくさんの贈り物に笑顔があふれました。

あたたかいお気持ちをありがとうございました。

自主製品販売しています

廿日市市役所１階（喫茶アゼリア跡）に、コンビニエンスストアの『デイリーヤマザキ』が2月6日オープン！店内には作業所自主製品コーナーも設置され、くさのみ、ピクトハウスを含む市内６事業所の製品が常時販売されています。市役所にお越しの際には是非寄ってみてくださいね☆

営業時間　８：００～２０：００
土日祝日も休まず営業（年末年始を除く）

署名活動にご理解ご協力ください。

☆今号のたよりに同封してあります署名用紙の内容にご賛同いただければ、ご署名の上、直接くさのみ作業所かピクトハウスにご持参いただくか、郵送（申し訳ありませんが送料はご負担いただくようになります。）にて、活動にご協力いただければ幸いです。

お一人でも多くの方のお力添えをお待ちしています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします！

◆編集後記◆

新たな年が始まりました。私が入職してから、もうすぐ1年になります。年間の行事を通して、利用者のみなさんの様々な表情をたくさん見ることができました。中でも、利用者さんの笑顔が一番好きです！これからもみなさんと一緒に、色々な経験をして、笑顔で過ごすということが私の目標です。

健康にもしっかり気を付けて、元気に社会人2年目を迎えたいと思います！

（C・Y）

社会福祉法人　くさのみ福祉会

〒738-0033 広島県廿日市市串戸五丁目3－22　TEL 0829-31-2800　FAX 0829-31-2900

通所事業部：くさのみ作業所・ピクトハウス・夢工房
廿日市特別支援学校放課後いきいき対策事業
生活事業部：ムックハウス・Ｌ＆Ｂ・ホープ・ハートインハウス
(グループホーム、ショートステイ)　さくら木荘・ＳＡＩさん家・串戸・佐方
相談支援事業部：相談支援事業所くさのみ（※委託：廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ）
発達支援事業部：広島西こども発達支援センターくれよん

くさのみ福祉会後援会　TEL 0829-31-2800　FAX 0829-31-2900